



地方ローカル線における 当社の取り組みについて

九州旅客鉄道株式会社
総合企画本部 地域戦略部
堀江 秀理



KYUSHU RAILWAY COMPANY

2023年2月17日



地方ローカル線における当社の取り組みについて



本日はご紹介する内容

1. 鉄道のご利用状況について
2. 線区活用に関する検討会について
3. 日田彦山線BRTについて

地方ローカル線における当社の取り組みについて

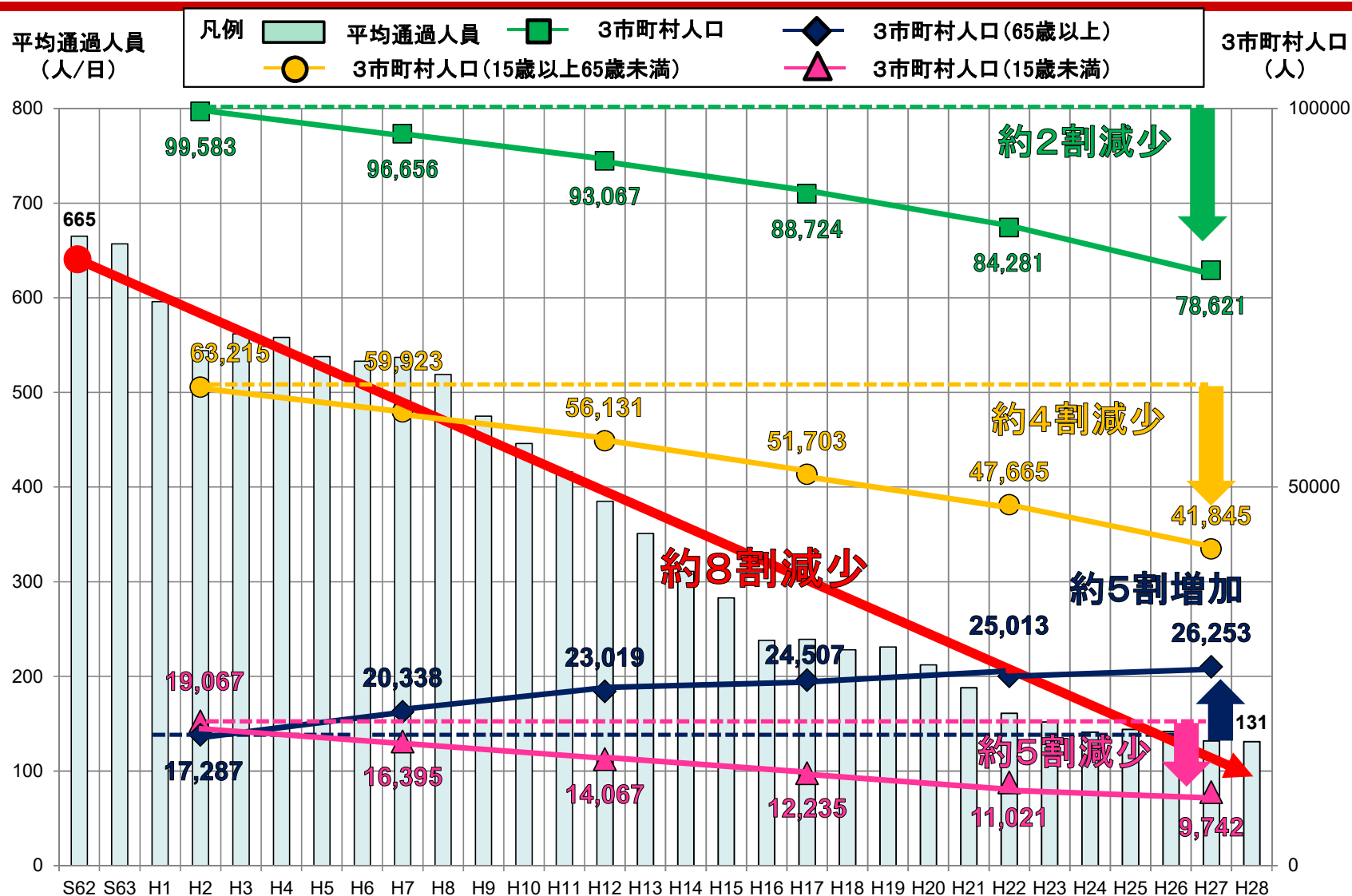


本日はご紹介する内容

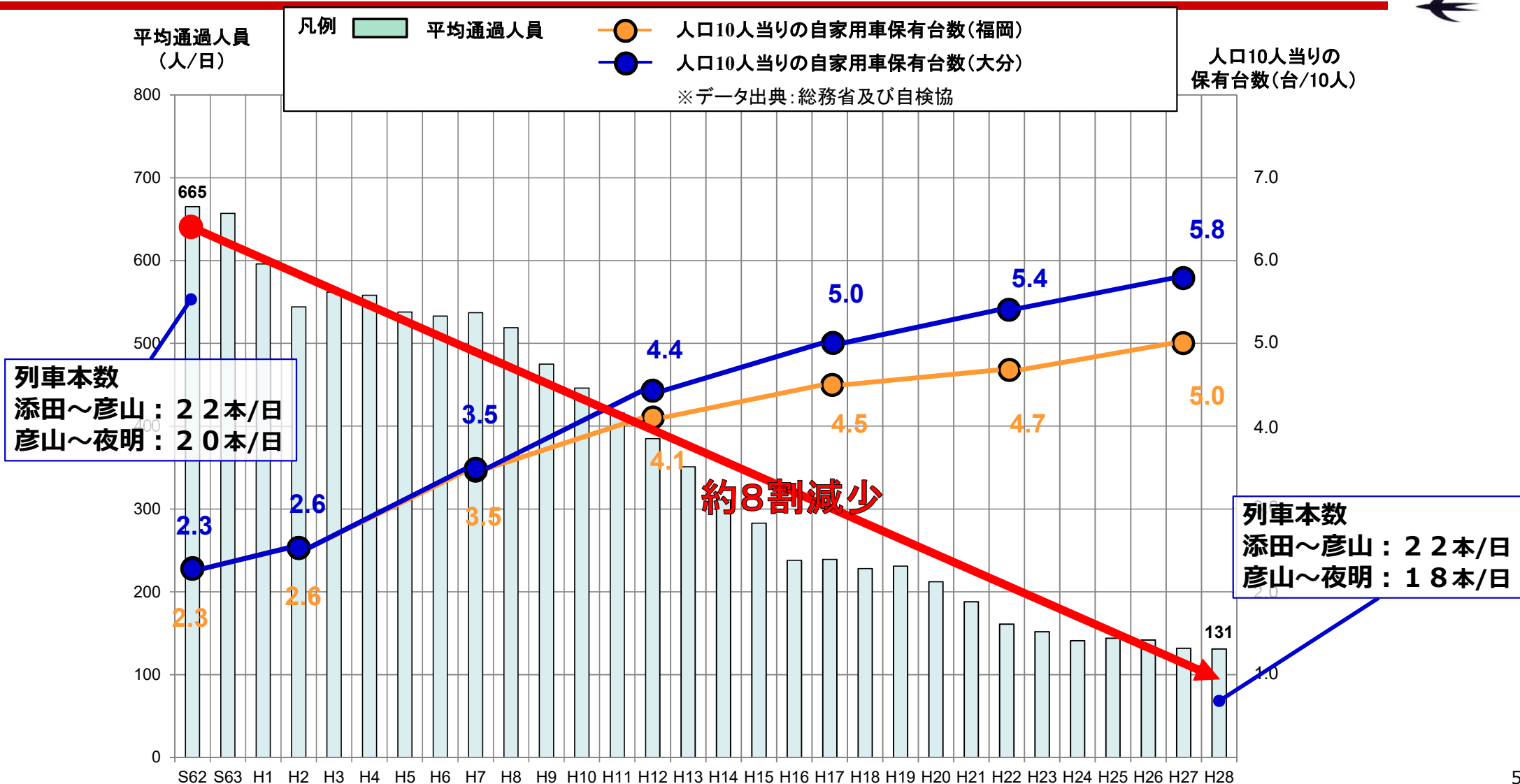
- 1. 鉄道のご利用状況について**
2. 線区活用に関する検討会について
3. 日田彦山線BRTについて

1. 鉄道のご利用状況について (添田～夜明間のご利用と沿線人口推移)

(第2回日田彦山線
復旧会議資料より)



1. 鉄道のご利用状況について 自動車保有台数（九州）の推移



地方ローカル線における当社の取り組みについて



本日はご紹介する内容

1. 鉄道のご利用状況について
- 2. 線区活用に関する検討会について**
3. 日田彦山線BRTについて

2. 線区活用に関する検討会について

当社の危機感

- ・ 鉄道が地域の交通としてお役に立てていない（**交通の選択肢とされていない**）

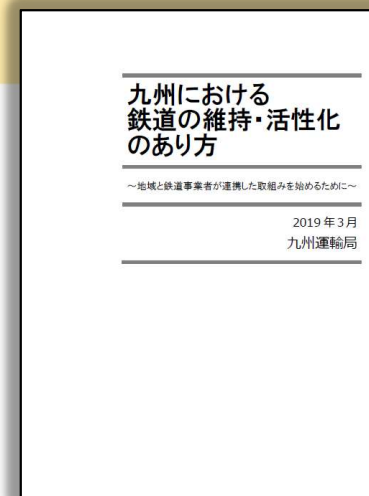
沿線人口の減少に比べ、鉄道をご利用のお客さまが大幅に減少

地域公共交通に関する法律・九州運輸局の報告書より

- ・ 交通政策基本法や地域公共交通活性化再生法
におけるそれぞれの役割



- ・ 鉄道事業者、地方公共団体、利用者、地域の方々が
「主体的に」「共創」し鉄道（に関する課題）に取り組むこと
- ・ コミュニケーションを大事にし、**お互いの信頼関係**の構築をすること



2. 線区活用に関する検討会について



検討会の目的

- 自治体の皆さまに、**自分たちの線区の現状を把握**していただき、相互理解を深めること。
- 事業者・自治体で、**持続可能な線区にする**為の活用策を策定し、その実行により、**再びお客さまに選ばれる交通手段になる**こと。

対象線区について

- 平均通過人員2,000人/日未満の線区のうち、会社発足時よりもご利用が**大幅に減少**している線区

検討会対象線区（6路線7線区）

筑肥線（伊万里～唐津）、筑豊本線（桂川～原田）、肥薩線（八代～人吉、人吉～吉松）、吉都線（吉松～都城）、指宿枕崎線（指宿～枕崎）、日南線（油津～志布志）

2. 線区活用に関する検討会について

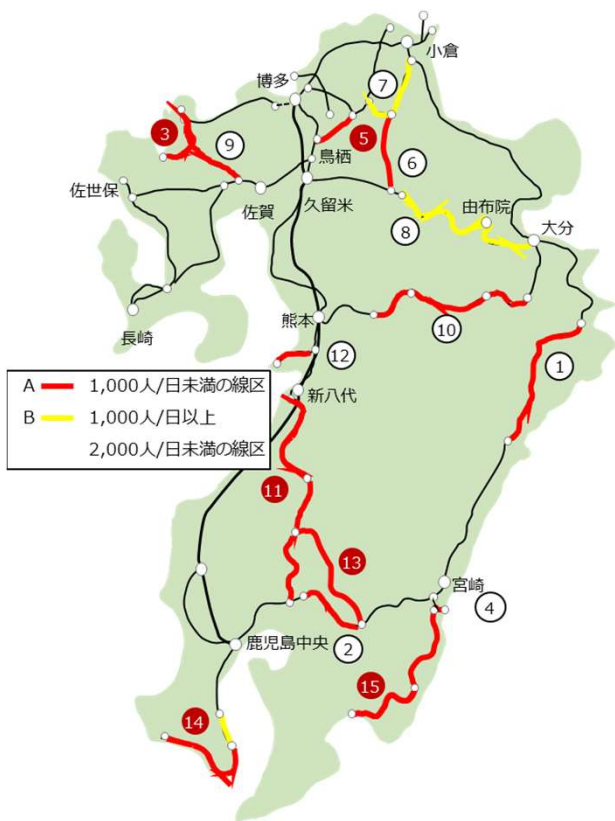


平均通過人員が2,000人/日未滿の線区について収支を開示

⇒うち、JR発足時と比較してご利用が大幅に減少している線区にて

「線区活用に関する検討会」を立ち上げ

⇒現在はJR東海を除くJR旅客5社が収支を開示



No.	線名	区間	営業キロ (Km)	2021年度 営業損益 (百万円)	平均通過人員 (人/日)		
					1987年度	2021年度※	減少率
①	日豊本線	佐伯～延岡	58.4	▲659	3,428	431	▲87%
②		都城～国分	42.2	▲415	2,029	830	▲59%
③	筑肥線	唐津～伊万里	33.1	▲146	728	184	▲75%
④	宮崎空港線	田吉～宮崎空港	1.4	▲29	—	890	—
⑤	筑豊本線	桂川～原田	20.8	▲82	2,981	322	▲89%
⑥	日田彦山線	城野～田川後藤寺	30.0	▲346	3,287	1,827 (2,595)	▲44%
		田川後藤寺～夜明	38.7	—	1,103	— (299)	—
⑦	後藤寺線	新飯塚～田川後藤寺	13.3	▲137	1,728	1,048	▲39%
⑧	久大本線	日田～由布院	51.5	—	2,564	— (1,756)	—
		由布院～大分	42.4	▲538	3,890	1,590 (2,162)	▲59%
⑨	唐津線	久保田～唐津	40.3	▲378	3,649	1,771	▲51%
		唐津～西唐津	2.2	▲177	1,315	766	▲42%
⑩	豊肥本線	肥後大津～宮地	30.8	▲218	2,711	644	▲76%
		宮地～豊後竹田	34.6	▲301	1,028	129	▲87%
		豊後竹田～三重町	23.9	▲141	2,384	786	▲67%
⑪	肥薩線	八代～人吉	51.8	—	2,171	— (414)	—
		人吉～吉松	35.0	—	569	— (106)	—
		吉松～隼人	37.4	▲262	1,109	518 (605)	▲53%
⑫	三角線	宇土～三角	25.6	▲281	2,415	776	▲68%
⑬	吉都線	都城～吉松	61.6	▲341	1,518	397	▲74%
⑭	指宿枕崎線	喜入～指宿	19.1	▲185	3,687	1,674	▲55%
		指宿～枕崎	42.1	▲494	942	240	▲74%
⑮	日南線	田吉～油津	44.0	—	2,129	— (934)	—
		油津～志布志	42.9	—	669	— (171)	—

※カッコ内は被災前年度の平均通過人員、赤丸、ピンクの網掛けは「線区活用に関する検討会」立ち上げ線区

2. 線区活用に関する検討会について

現在の開催線区のご利用状況等

路線	線区	平均通過人員（人/日）			線区別収支 （百万円）	対象県	関係市町村
		1987	2021	1987年度 との比較	2021		
筑肥線	伊万里～唐津	728	184	▲75%	▲146	佐賀	唐津市、伊万里市
吉都線	吉松～都城	1,518	397	▲74%	▲341	宮崎	えびの市、小林市、 高原町、都城市
						鹿児島	湧水町
指宿枕崎線	指宿～枕崎	942	240	▲74%	▲494	鹿児島	指宿市、南九州市、 枕崎市
日南線	油津～志布志	669	(171)	▲74%	(▲398)	宮崎	日南市、串間市
						鹿児島	志布志市

日南線は災害のため2020年度の数値をカッコ（ ）で記載

2. 線区活用に関する検討会について

これまでの取り組み

- ・ これまでに計11回の検討会を開催（線区の実態共有、線区活用策の策定、実施など）
…2019年度：2回、2020年度：3回、2021年度：4回、2022年度：2回
- ・ 参加団体：沿線市町村、県、九州運輸局、JR九州
- ・ 今年度より取り組み成果を公表（当社、県、沿線自治体）



「筑肥線（唐津～伊万里）活用に関する検討会」
における2021年度の取り組みについて

- 1. 検討会の取り組み概要**
筑肥線（唐津～伊万里）を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くのお客さまに選ばれる交通手段とすることを目的として、2021年度は「筑肥線活用に関する検討会」を計4回開催しました。
検討会では、線区のご利用実態に関する情報共有や、ご利用者を増やすための線区の活用策の検討および実施に向けた協議などに取り組み、それらを踏まえ各主体で活用策を実施した結果、多くの方にご参加等頂きました。
- 2. 出席者**
唐津市、伊万里市、佐賀県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社
- 3. 実施した主な線区活用策**

イルミネーション列車の運行 イルミネーション列車を企画・運行し、それに合わせて地域団体等が行うおもてなし等の取組を支援することにより、鉄道の利用機会の創出と更なる利用促進を図った	鉄道を使った地域づくしセミナーの開催 沿線自治体や関係団体を対象としたセミナーを開催し、他線区での利用促進策の紹介等を行うことで、鉄道の利活用促進に向けた機運醸成を図った
 ・参加者66名（うちJR利用者 約20名）	 ・参加者66名（うちJR利用者 約20名）
全体 この他にも、以下の取り組みなど11件の線区活用策を実施し、全体の参加者等は約2,800名（うちJR利用者 約550名）でした。 ・公共交通機関を利用した通学・通学の推進 ・通学利用を促進するための広報活動 ・大川野駅舎内での筑肥線鉄道資料の展示 ・鉄道利用促進PR動画の制作 ・沿線事業所に対する鉄道利用状況調査 ・「肥前やきもの風」PR列車の運行	
 ・2日間にわたり8本のイルミネーション列車を運行 ・JR利用者 515名	

「日南線活用に関する検討会」における2021年度の取り組みについて

- 1. 検討会の取り組み概要**
日南線を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くのお客さまに選ばれる交通手段になることを目的として、2021年度は「日南線活用に関する検討会」を計4回開催し、線区のご利用実態に関する情報共有や意見交換などを行いました。
また、ご利用状況を改善するため、JR・日南線利用促進連絡協議会や沿線自治体等において様々な線区活用策が実施され、多くの方にご参加等頂きました。
- 2. 出席者**
宮崎市、日南市、串間市、志布志市、宮崎県、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社
- 3. 主な線区活用策（JR・日南線利用促進連絡協議会及び沿線自治体等による取り組み）**

日南線フォトコンテスト 日南線の車窓をテーマに、インスタグラムを活用して開催 【グランプリ作品】  【準グランプリ作品】  ・参加者23名（JR利用者23名） ・応募総数約80件	JR・日南線利用促進イベント公募 JRを活用したイベント（JAZZトレインや子育て応援列車、高校生と行く小学生ふれあい旅など）を実施する串間市内の団体に対して、費用の一部を補助 【高校生と行く小学生ふれあい旅】  ・参加者95名（JR利用者95名） 沿線ガイドマップの作成 鹿児島県内在来種7線区の観光モデルコースを集めた電子ブックを作成 ・2021年度末に配信開始
---	--

2. 線区活用に関する検討会について

これまでの取り組み

2021年度
活用策の
主な例



イルミネーション列車



小中学校利用促進助成



利用促進イベント公募
(写真：高校生と行く
小学生ふれあい旅)

・その他の線区活用策（これまで）

- 各種イベントの開催（駅前マルシェ、駅弁まつり、フォトコンテスト、各種セミナーなど）
- 企画切符の販売や企画列車の運行（お買い物切符造成、団体利用やチャーター利用支援など）
- 各種PRの実施（PR動画作成や広報誌等での紹介、ガイドマップの作成など）
- 沿線住民アンケートの実施（駅から2km県内の住民の方にアンケートを実施）



本日はご紹介する内容

1. 鉄道のご利用状況について
2. 線区活用に関する検討会について
- 3. 日田彦山線BRTについて**

4. 日田彦山線BRT ひこぼしライン



BRTひこぼしライン（日田彦山線BRT）

「BRTひこぼしライン」



日田彦山線沿線の地域の想いを乗せ

未来に向け駆け抜けていく

「日田“彦”山線の“星”」となるように願いを込めて命名

「ひと、地域、みらいにやさしい」

ご利用のお客さまや地域にお住まいの方にとって、

さらに環境にも「やさしい」交通機関であるとともに、

緑豊かな沿線の未来を「やさしく」つなげるBRTを目指します。



※主な駅のみ記載しています。

HIKOBOSHI LINE

4. 日田彦山線BRT ひこぼしライン

- 鉄道駅（12駅）に加え、新たに24駅のBRT駅を増設（合計36駅を計画）

⇒学校や病院など生活に密着したエリアにも停車



- 環境にやさしい電気バスを導入、3/7より試験走行を開始

⇒色とりどりにきらめく地域の魅力をバス車体へのラッピングで表現



※駅名を口枠で囲んだ駅は、「平成29年7月九州北部豪雨」被災前の鉄道駅
 ※点線「—★—」記載のBRT駅(経路)は、朝・夕の一部便運行

HIKOBOSHI LINE

4. 日田彦山線BRT ひこぼしライン

- 旧鉄道駅には各地域の特産品などをモチーフにした**特色ある待合ブース**を整備
⇒デザインは沿線自治体をオブザーバーに招いたデザイン検討会を経て決定

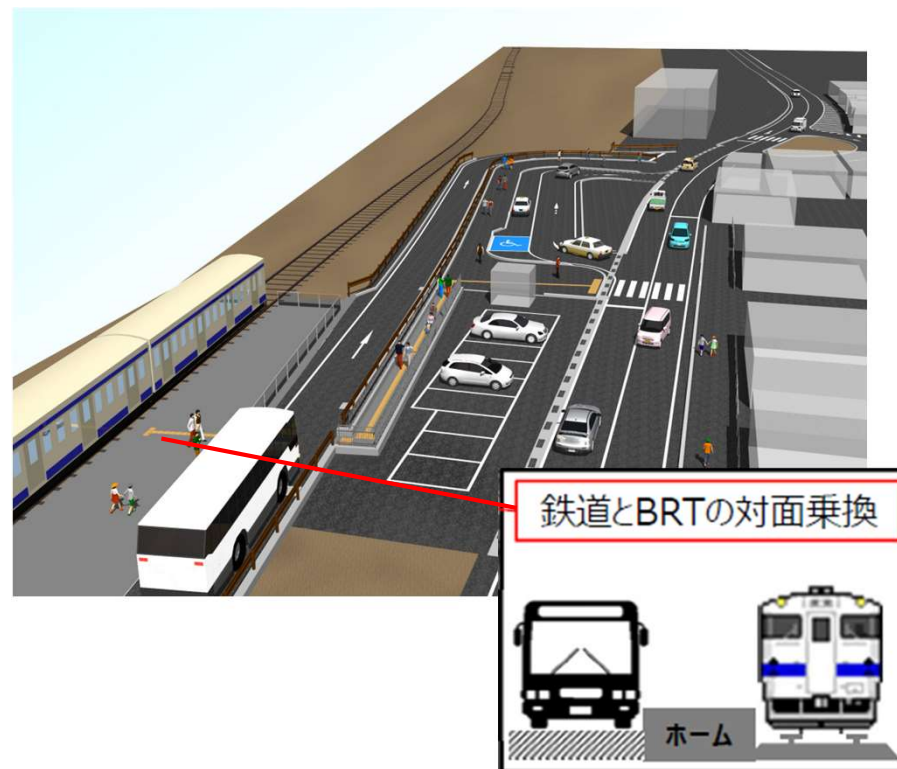


筑前岩屋駅

デザインコンセプト：「めがね橋」

筑前岩屋駅では、BRTひこぼしラインのシンボルである「めがね橋」を木材で表現

- 添田駅では鉄道との**対面乗換方式**を採用
⇒沿線自治体と連携し、
駅周辺の**交通結節点機能を強化**



4. 日田彦山線 BRT ひこぼしライン



工事進捗

【添田駅】
対面乗換
駐機場整備



現在



【彦山・筑前岩屋間】
アスファルト
舗装工事



現在



【釈迦岳トンネル】
アスファルト
舗装工事



現在



【筑前岩屋駅】
橋りょう
架け替え工事



現在



【宝珠山駅】
橋りょう
架け替え工事



現在



工事の
最新状況を
YouTube
で公開中

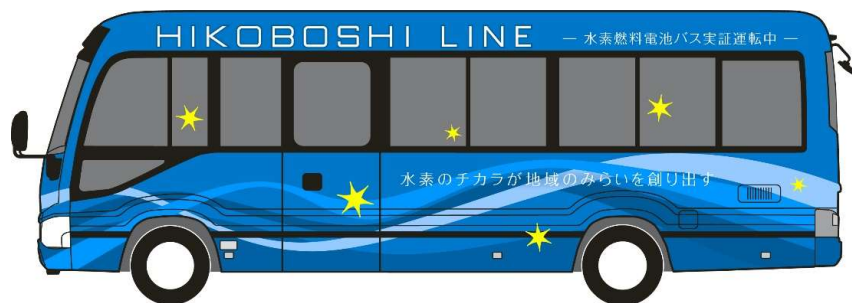


4. 日田彦山線 B R T ひこぼしライン

- 2023年秋頃から2025年春頃まで、**FCバスの実証運転**を実施



FC モビリティは、水素と酸素を化学反応させて発電した電気を使いCO2を排出せずに走行する環境にやさしい車両です



水素エネルギーのイメージや、ひこぼしライン沿線に広がる青空を表現したラッピングを計画



2月8日に福岡県、C J P T と共同で発表



ありがとうございました

